

平成 30 年度 京都市域地域医療構想調整会議（B ブロック会議） の開催概要（第 2 回）（平成 30 年 1 月 28 日）の審議内容

開催日時

平成 31 年 1 月 28 日（月曜日） 14 時から 16 時まで

開催場所

京都府医師会館

出席委員

出席者名簿のとおり（30 名）

審議の概要

報告事項

（1） 地域における医療機関の機能について（病院機能MAP）

- ・ 資料（別紙）により、京都府担当から説明

（2） 各病院から「病院の役割と今後について」発表

- ・ 資料により、各病院から説明

（3） 地域における各病院の役割について意見交換（各病院間、各団体間）

- ・（2）発表を基に、意見交換を実施

<主な発言>

- ・ 右京区・西京区といっても、細かい地域で見ると人口状況はかなり違う。洛西ニュータウンは高齢化が著しいが、若い人が入って出生数が多い地域もある。
- ・ 退院時の訪問看護の必要性については浸透していたが、外来患者の在宅での訪問看護への意識は病院では希薄と感じる。
- ・ 西京区の病院と右京区の病院の連携、会議に相互に出席するなど必要。
- ・ 訪問看護も、精神疾患などニーズが多様化している。
- ・ 精神での訪問看護STを立ち上げたいが、どのような仕組みになっているのか詳しく教えてほしい。

- 介護ではなく医療保険での対応になること、定まった研修や精神科での勤務経験がある看護師であることなど、一定の要件を満たす必要がある。(訪問看護ステーション協議会)
- ・右京区では精神患者への対応が弱いと感じる。

＜主な発言（全体を通して）＞

- ・ 民医連中央病院の移転に伴い、マップ等の更新を今後していく必要がある。

(4) 連絡事項

- ・ 次回開催は2月25日(月)、同会場。今年度の最後の意見交換会となりますので、未発表の病院、団体様には発表いただきます。